

新学習指導要領 「現代の国語」では、 話すこと・聞くことに関して、次の事項を身に付けるよう指導

- ア 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集，整理して，伝え合う内容を検討すること。
- イ 自分の考えが的確に伝わるよう，自分の立場や考えを明確にするとともに相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど，話の構成や展開を工夫すること。
- ウ 話し言葉の特徴を踏まえて話したり，場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど，相手の理解が得られるように表現を工夫すること。
- エ 論理の展開を予想しながら聞き，話の内容や構成，論理の展開，表現の仕方を評価するとともに，聞き取った情報を整理して自分の考えを広めたり深めたりすること。
- オ 論点を共有し，考えを広げたり深めたりしながら，話合いの目的，種類，状況に応じて，表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫すること。

「これからの時代に求められる国語力について」 平成16年2月 文化審議会答申

2 「聞く力・話す力・読む力・書く力」の具体的な目標

(1) 「聞く力」について

1) 話の要旨を的確に把握して、その内容を理解できる。

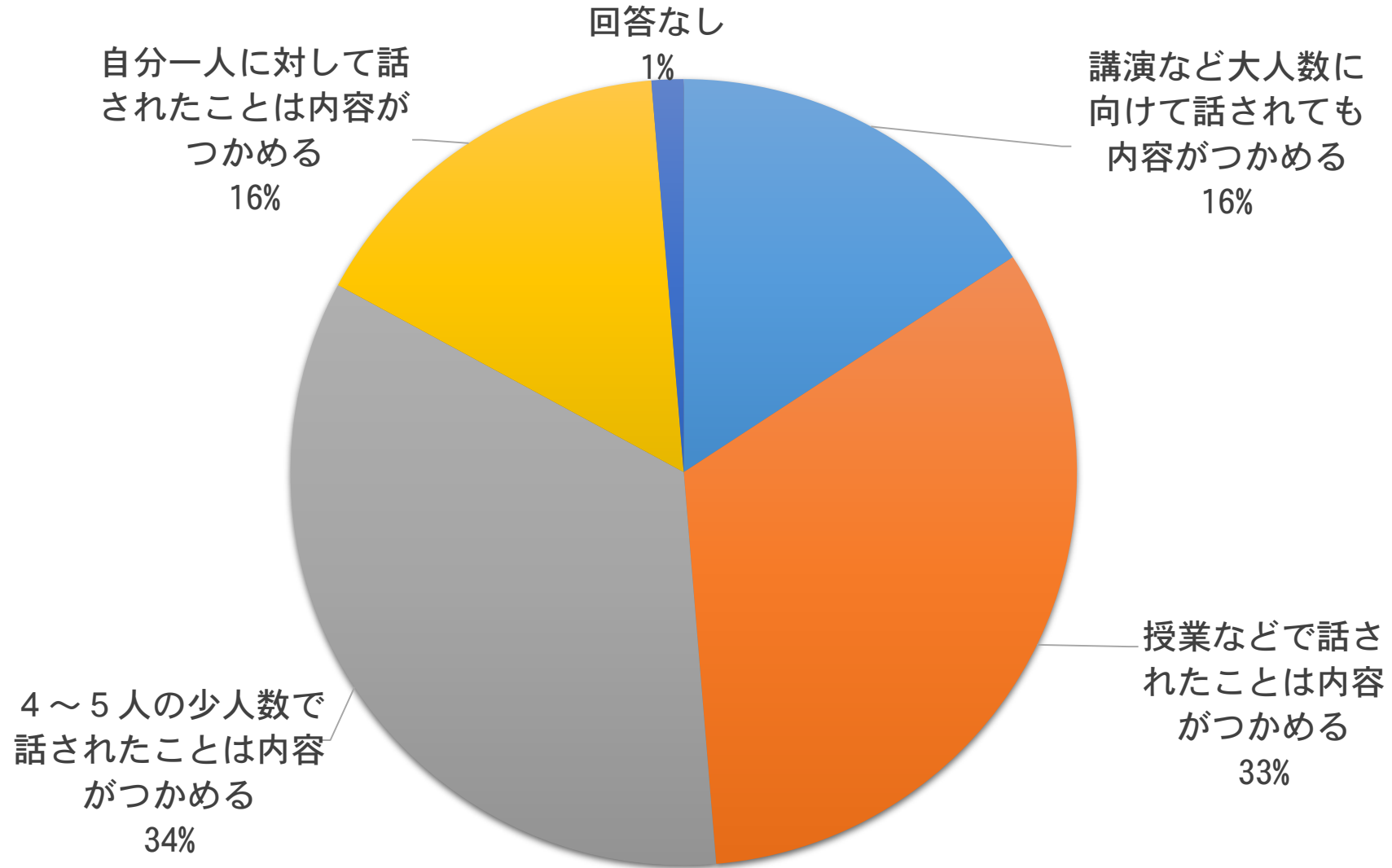
① 事実や根拠などに注意しながら、話の内容を正確に聞き取ることができる。

② 聞いた内容をメモしたりして、話の構成や展開を理解できる。

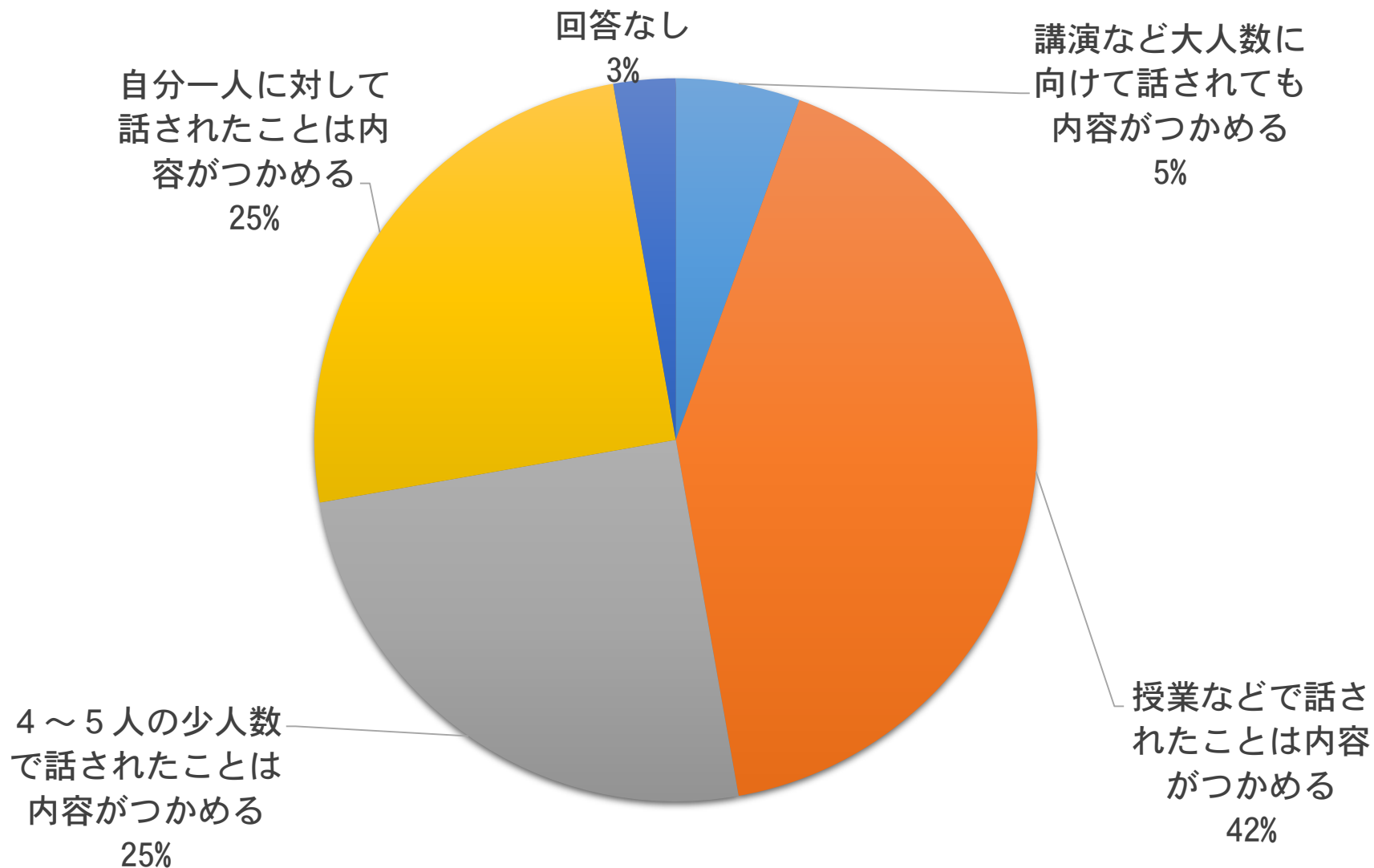
③ 話を分析的・批判的に聞き、自分の意見や考えを組み立てることができる。

- 2) 話し手の気持ちや主張だけでなく、言外の思いや真意を感じ取ることができる。
 - ①話し手が何を言いたいのかを探りながら、話を聞くことができる。
 - ②話し手に共感でき、言外の思いも感じ取るように聞くことができる。
- 3) 場面に応じて最後まで集中して、聞くことができる。
 - ①話の形態や話し手との社会的関係に対応した聞き方ができる。
 - ②話し手の意図を考えながら、講話や講演を集中して聞くことができる。
 - ③話をしっかりと聞き取り、確認すべき情報を整理して質問できる。

自分の「聞く力」について(1年生)



自分の「聞く力」について(2年生)



(今年度の取組)

新聞記事を使ったオリジナル教材による聞き取り

○内容

海洋プラスチック（マイクロプラスチック）に関する新聞記事の朗読を聞き、ワークシートの質問に答える。（資料1, 2参照）

○授業の方法（25～30分）

- ①ワークシートを読む。
- ②朗読（**タブレットに録音した**もの）を聞く。
- ③内容を質問に従って聞き取った内容を答える。
- ④答え合わせをする。



第1時 新聞記事を探してみよう（図書室）



☆「人と自然との関わり」についての記事を探して、切り抜く作業
4人グループで活動・昨年6月の新聞と「ニュートン」などの雑誌を使用

第2時 ラジオCMを聞いてみよう1



①前時の新聞の切り抜きを導入に使用
生徒と分類して，環境問題につなげる。



②「学習1」ラジオCMを聞き，内容を思い出してプリントの空欄を埋める様子（資料5参照）



③ワークシートの空欄部分を発表し、環境問題について解説を聞く。



④CMのシナリオを読み合い、お互いの音読を聞き合っている。
→「学習2 作品分析シート」記入へ
(資料6 参照)

第3・4時 ラジオCMを聞いてみよう2 (聞くこと→書くことへ)

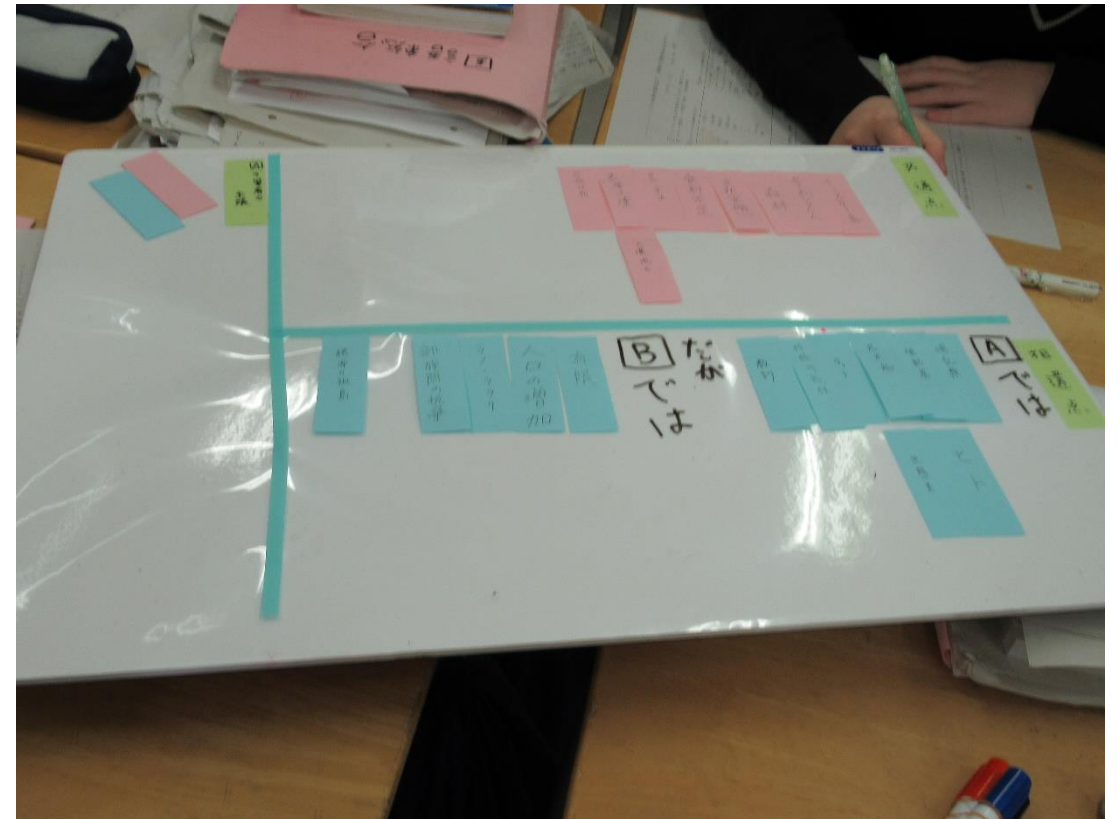


①環境問題についてカードを使った補足説明を聞き、「学習2分析シート」について振り返る。

②「学習3書いてみよう」資料をもとに、環境問題について自分の考えを書く。(資料7, 8参照)

班活動の様子（話し合い活動）

- ①2つの文章のキーワードを書き出す。
- ②マナボード（ホワイトボード）
を活用し，2つの文章のキーワードを「共通点」「相違点」別に付箋で整理しながら貼っていく。
- ③整理した内容から，本教材の筆者が主張したかったことは何かを話し合う。
- ④班ごとに発表する。



○授業者の感想

(よかった点)

- ・二つの評論文の比較をさせたいと教材探しから始まったが、中学校で学習した教材の中に、同じ題材を扱った文章があり、生徒にとって読んだことのある文章だったので取り組みやすかった。
- ・実施したクラスは、男女問わず仲良く話し合い活動がしやすい雰囲気だったため、授業を進めやすかった。

(反省点)

- ・比較することで、それぞれの主張の違いに気づかせるためには、教材を読み込み、キーワードを整理させるところから入ったが、出すキーワードの数を制限すべきだった。

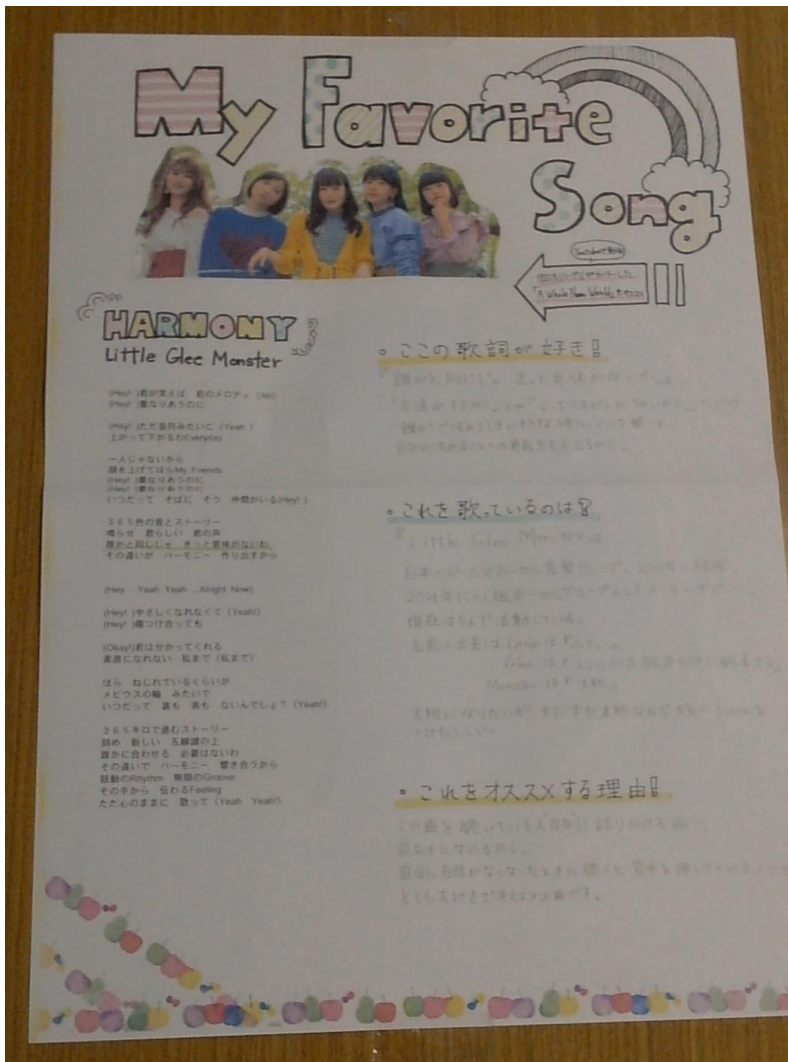
※生徒は話し合い活動なのでお互いに聞き合う姿がみられた。

生徒の作成したポスター (好きな歌詞の紹介)



自分の好きな歌の歌詞やアーティストについて、コメントやレイアウト、色使いの工夫がみられる。

自分がすすめる理由についても「前向きな気持ちになれる」と自分の言葉で紹介できている。



○生徒の感想

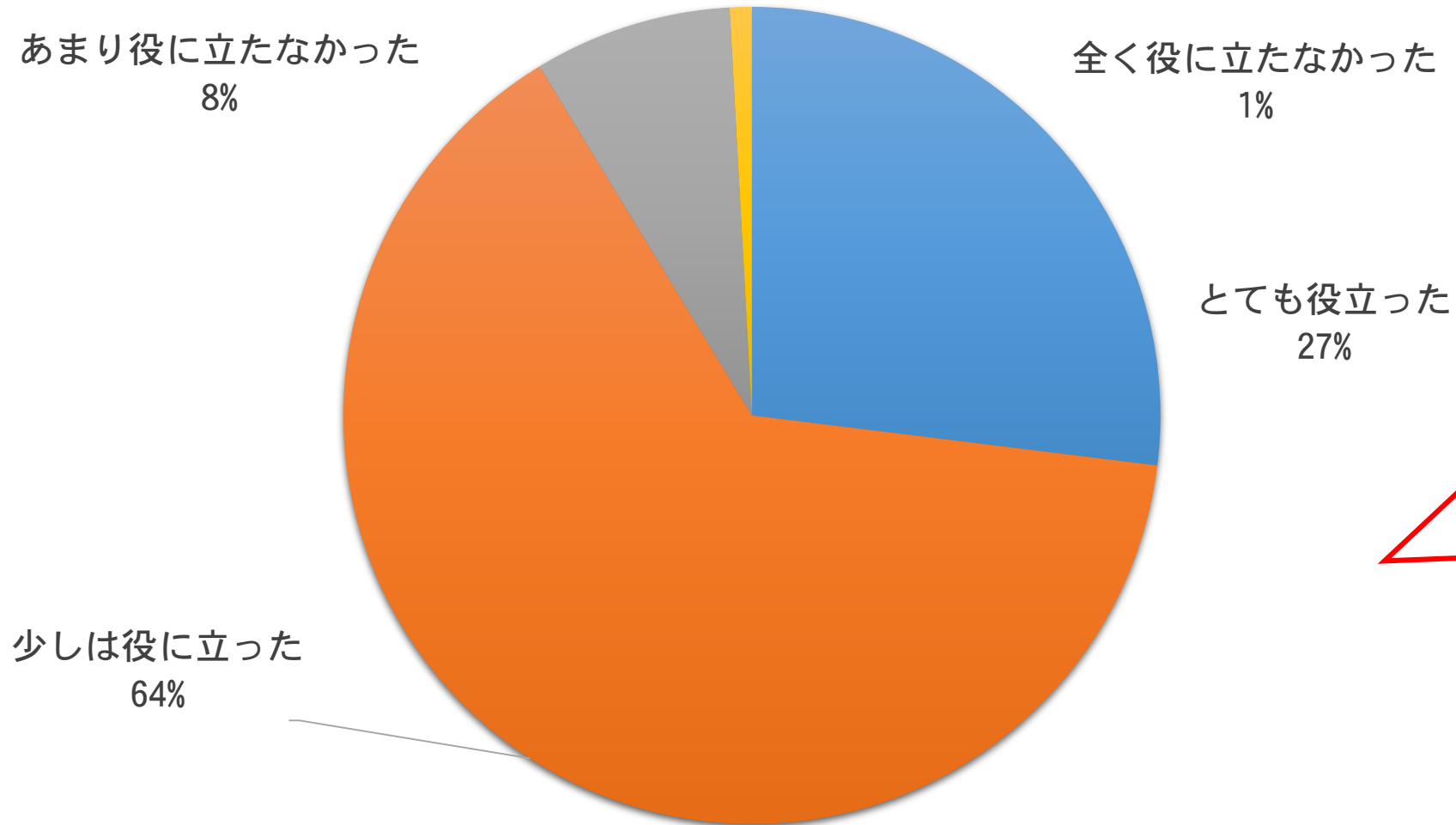
- ・自分の好きな曲について調べるのが楽しかった。
- ・自分のお気に入りの歌をみんなにもわかってほしかったので、発表するときに、短くても印象に残るような工夫をした。
「どうしたら伝わるのかな」とずっと考えていた。
- ・みんなのポスターがとても工夫されていて驚いた。
- ・友達の発表では「その曲に背中を押してもらった」という感想も多くてみんなも同じような悩みがあるんだとほっとした。
- ・発表は緊張したけれど、準備も発表も楽しかった。
- ・他の子が紹介してくれた曲の中でも「聴いてみよう」と思う曲がたくさんあって新しい発見があった。

○授業者の感想

- ・自分の好きな歌詞を紹介することで、自分について考える機会にしてほしいと設定した。自分の好きなものは何か、なぜ、その歌詞に惹かれるのか、歌詞に注目することで、言葉から受ける感動や励ましや共感について生徒たちは考えることができていた。
- ・ポスター作成や発表準備の中でお互いの良さを認め合う機会になった。
- ・歌を紹介し合うことで、新しい歌や素晴らしい歌詞に触れ、生徒の興味関心が広がっていくことが実感できた。

※互いの発表を真剣に聞き合う姿が印象的

事後アンケートから (聞く活動を実施した1・2年生のクラスでアンケートを実施)



生徒の9割が、聞く活動が「役に立った」と答え、効果を実感している。

「主体的・対話的で深い学び」の実現のために

(イメージ図)

